

伝福島正則奉獻石灯籠



三島神社の磐座の中に、福島灯籠と呼ばれる石灯籠がある。2基のうち向かって左のものが当時のもので、右のものは複製だという。

花崗岩製で、円筒形の竿をもつ。竿は中央部が膨らみ竹をイメージさせる。

「社記」に元龜2年（1571年）福島正則が伊予の領主となった時、三島神社に一对の石灯籠を寄進したと記されている。

家紋や寄進者、寄進年月日が施された跡があるが、磨滅していて確認できない。